

福島第一3号燃料プールへ 瓦礫処理中に鉄骨落下

東京電力は二十二日午前、福島第一原子力発電所3号機の原子炉建屋上部で瓦礫撤去作業を行っていたところ、使用済み燃料プールの脇にあった鉄骨(約三十センチ×二十センチ×七センチ、約四百七十キログラム)をクレーン先端に取り付けた油圧フォーク(II号)真下の右上の黄色い機械でつかもうとしていた最中に、この鉄骨が使用済み燃料プール内に滑り落ちた、と同日発表した。



3号機燃料プールの上空からの現況写真。一部は瓦礫撤去済み。



同プールの代替冷却システムの運転状況や水位、プール水の核種分析の結果や発電所内のモニタリングポストの値には異常は確認されていない。

再処理竣工延期で 青森県 知事がコメント

青森県の三村申吾知事は十九日、日本原子力発電の再処理工場のしゅん工時期が二一三年十月に延期となったことを受け、県民の安全・安心を守る立場から、事業者の対応状況を厳しく見極めていくとのコメントを発表した。

情報公開で定例 会議も動画公開

原子力規制委員会は、透明性の確保を図る観点から、動画配信も活用し、

見る側と見られる側 規制委がロゴ

十九日に発足した原子力規制委員会は、同委員会のロゴマークも発表した。デザイナーのねらいは、「原子を包み込むビジョン」



内閣官房が同委発足の準備の一環としてロゴマークの公募を行ったもので、百四作品の応募があり、選考委員会での審査の結果、吉村琢磨さん(東京都)の作品が選ばれた。

急拡大する中国の原子力

原産会員フォーラム講演 参入の難しさも

我が国のエネルギー政策について、年代別に説明し、一九七〇年代は石油危機への対応として「安定供給」が主眼、九〇年代に入って安定供給に「経済性」が加味され、さらに「環境」も加わり、二〇〇〇年代に入るとさらに「資源確保の強化」も入れたエネルギー政策の見直しが行われた。

〇二一年にエネルギー政策基本法が成立してからは、〇三年エネルギー基本計画を策定、〇七年、一〇年に改訂され、福島事故を受けて現在、総合資源エネルギー調査会で見直し作業が



「原子力大国ロシア」 秘密都市・チェルノブイリ・ 原発ビジネス」

原子力発電所が使用する濃縮ウランの約一五%はすでにロシア製が占める。一九八六年四月のウクライナのチェルノブイリ

「原産新聞ヘッドラインニュース」 無料メールマガジン

原子力産業新聞は、最新号の見出しと要約を、毎週月曜日に電子メールを使って配信する無料メールマガジン「原子力産業新聞ヘッドラインニュース」のサービスを行っています。

メールマガジンの配信をご希望の方は、電子メールまたはFAXで、電子メールアドレス、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記してお申し込みください。

お申込み先 shinbun@jaif.or.jp

こちらからも直接お申込みいただけます。

- 原産ホームページ (<http://www.jaif.or.jp/>)
- まくまく (<http://www.mag2.com/>)

一般社団法人 日本原子力産業協会 情報コミュニケーション部
(TEL03-6812-7103、FAX03-6812-7110)

原産新聞の記事検索

<http://www.jaif.or.jp/>

原産協会が発行する「原子力産業新聞」では、1999年11月からの記事データベースから即座に目的の記事を検索できるサービスを、原産協会会員、原産新聞購読者を対象に行っています。何回利用しても無料です。

また、一般の方にも2002年4月からさかのぼって1955年9月25日の創刊号までは、紙面のPDF版が当協会HP「電子図書館」からご覧いただけます。PDF版のキーワード検索も年度単位でご利用いただけるようになりました。

○対象：原産会員、原産新聞購読者
ご利用にはユーザー名(ID)、パスワードが必要です。
電子メールで購読者コード、組織名、部署名、お名前、ご連絡先電話番号を明記してお申し込みください。折り返し、IDとパスワードを返します。

○お申込み： information@jaif.or.jp
○お問合せ： 一般社団法人 日本原子力産業協会 情報・コミュニケーション部 (TEL03-6812-7103)

【著作権】 一般社団法人 日本原子力産業協会